

# ひら 拓く

デラックス ～ With コロナの時代へ～



令和2年度 第2号

2020年12月

編集・発行

京都府立八幡支援学校  
PTA本部

## 特集1

### 行ってきました！ 施設見学

今年は残念ながら皆さんと一緒に見学することはできませんでしたがPTA役員4名で京田辺の福祉施設に行ってきましたのでご紹介します。



## 特集2

### 子供たち頑張りましたね！ 第11回 たけまつり開催

11月4・5・6日に行われた学校祭「たけまつり」の様子をたっぷりお知らせします！



## 特集3

### たけまつり同時開催 PTA防災啓発パネル展示

たけまつり時に行われた、八幡市役所の防災安全課のご協力による防災グッズの展示の様子をお伝えします。お役立ち情報も！



## お知らせ

### 不安な心の解消事業 講演会「今、わたしたちができること。」 ～“親なきあと”へのそなえについて～

2021年2月に講演会の開催を予定しています。たくさんのご参加お待ちしております！





行ってきました!

# 施設見学

## 福祉施設のご紹介

Vol.01

2020年12月号

### (有) ライフ・アシスト

代表 井山 信久さま

〒610-0313 (法人本部)  
所在地 京田辺三山木中央6-5-8  
TEL 0774-26-6835/FAX 0774-26-6832  
Email iyama@904n.co.jp



セラピー犬 エース  
街中で犬に会っても怖がらないように、ほくを見て慣れてね!



#### 障がいのある子どもたちが「自分らしく」くらすように

10月某日、爽やかな秋晴れの日に、京田辺市三山木に位置する(有)「ライフ・アシスト」を見学させていただきました。近鉄・JR三山木駅から徒歩5分、閑静な住宅街の中にあります。今年4月に本館の北隣に新館がオープンしました。木造2階建ての吹き抜け構造で、主に1階に就労支援える、カフェ「OKUDO-YA」、2階が短期入所施設(ら・ぼると)、放課後等デイサービス、プレイルーム等となっています。利用者には就労の様子が見えることで、将来の働くビジョンを描いて欲しいとの願いが込められています。代表の井山様は、子ども達がサポートを得ながら自立できるようにとさまざまな工夫を凝らし、今後も次々とプロジェクトを実行予定だそうです。そして変わらず地域に愛される施設を目指していきたいと熱く語ってくださいました。

今年4月にオープンした新館



本館・新館ともに、主要な出入口はすべてランダムオートロックを使用しています。飛び出し防止対策パッチリです。



短期入所用施設「将来の一人暮らし」を想定したシンプルでコンパクトな部屋と浴室。



朝・夕食を摂る開放的な食堂。カウンターキッチンでスタッフが調理した食事が提供されます。



介護用の浴室。板を移動させることで左右に浴槽が移動します。引き戸で使いやすい。



介護用のトイレ。扉はここで左右に浴槽が移動します。引き戸で使いやすい。



スタッフの宿舎の両側に小窓があり、両側の部屋を確認することができます。確認にドアを開けなくて良いので、子供達を起こさなくて済みますね!

### カフェ OKUDO-YA

営業日 火～金  
定休日 月・土・日・祝日  
時間 ランチ・カフェ  
11:30～15:00  
惣菜他 11:30～17:30  
駐車場 5台



「ライフ・アシスト」新館に隣接したカフェ、OKUDO-YA(おくだや)。ランチとカフェの穴場ですよ!

キッチンが見える(就労・実習している利用者さんも見えます)セミオープンタイプの造りで、壁向きに座れる席もあるのでひとりで行ってもゆっくりくつろげます。大きな窓に囲まれて日差しがたくさん入ってくるので、明るなおだやかな室内です。



セミオープンタイプのキッチン。働いている様子が見えます。自慢のかまどもフル回転で稼働中です。  
① ランチの定食とデザートセット。お出汁が美味!

「おくださん」とは、京都の方言で「かまど」のこと。  
「ライフ・アシスト」自体が福祉避難所として指定されており、釜炊き設備を備えることでライフラインを確保しています。使用されている薪も利用者さんが薪割りをして作っています。



ランチにいただけるお料理は月替わりのおぼんざい定食2種(肉or魚)で、自慢の「炊き立てのかまど炊きご飯」と丁寧に仕込まれた季節のおぼんざい(自社菜園で取れたお野菜を使用)で、身も心もほっこり満たされます。デザートにはここで製造販売されている和紅茶と手作りケーキも楽しめます。一度行って味わってください。



校長先生、井山さんと一緒に

### 職場実習中 就労支援 える

えるの目指すもの、それは利用者一人ひとりが地域の役に立ち、必要とされる役割を持つ、そして認められる存在になるということ。そのために農業・製茶を始め、現在は防災の仕事なども積極的にこなしています。



左:防災用のガウンを置んでいます。右:工具室のコンセントは利便と安全のため全部天井に取り付けています。



製茶の仕事を行う部屋。カフェで和紅茶を販売しています。



紙製品を加工している部屋。生活介護の方も働いています。

### ライフ・アシスト 本館

工夫とこだわりが満載!

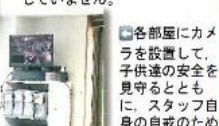
主に、くれよん(放課後等デイサービス・児童発達支援事業)です。  
「ライフ・アシスト=人生を手助けする」、障がいのある子どもたちが自分らしく暮らすよう、さまざまな活動・支援を行っています。



① 左から  
①子どもと介助者のために、幅や高さを設計した昇降し易い階段  
②特注のひろひろ浴室3枚扉。車椅子でも入れます!  
③車椅子のまま使用できる珍しいシャワー施設  
④車椅子でもらくらく介助できる大きな扉のついたトイレ



三山木に根を下ろして10年。看板をあげていないのはきょうだい児に対する配慮から。送迎車にも施設名を記載していません。



各部屋にカメラを設置して、子供達の安全を見守るとともに、スタッフ自身の自戒のためでもあるそう。



# やけまつり 2020

第11回やけまつりは、  
新型コロナウイルス感染防止のため、  
11月4・5・6日の3日間にわたって、  
学年ごとの分散形式で開催されました。  
児童生徒達が頑張って取り組んだ様子を  
写真でお伝えいたします。

## 小学部・中学部



小学部1・2組  
やわパー



小学部3・4・5組  
さあ！あつまって！  
やったまキッス！



小学部6・7・8組  
きらフェス★



中学部1年  
アート DE 工房



中学部2年  
トリック オア  
トリート



中学部3年  
かがやけたのしい  
サイエンス

## 高等部 普通科・福祉総合科



高等部福祉総合科



高等部普通科



### たけまつりでの感染防止対策



検温/消毒



記録



消毒

アフロをさがせ！

どこにいるか  
わかったかな？



みなさま、ご協力ありがとうございました





in 八幡支援



ハザードマップを真剣に見て自分の住まいの位置を確認する生徒たちや、被害の様子の写真パネルを眺めて自身の経験を語り合う保護者のすがたも見られ、防災への関心のひろがりを感じました。

☆八幡支援学校PTAでは、2019年度より防災対策部を立ち上げ、防災・減災に関する取り組みを行っています。

## 防災啓発パネル展示

PTAでは例年、模擬店や野点、フラダンスでもたけまつりの応援をしていますが、今年は新型コロナウイルスの感染対策のため、昨年から行っている「防災」に関する展示のみを、縮小したかたちで行いました。

今年も八幡市役所防災安全課の方々にご協力いただき、八幡市だけではなく、京田辺市や久御山町など他市のパネルも用意いただきました。



「自らの命は自らを守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、**災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。**

### 知っておくべき5つのポイント

- 避難とは「[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携帯して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

つねに情報収集を！



## 講演会のお知らせ

八幡支援学校・八幡支援学校PTA共催 不安な心の解消事業

### 『今、わたしたちができること。』 “親なきあと”への備えについて

保護者の皆様の知識を深め、将来の不安解消の一助となるよう、講演会を予定しています。

### 障がいのある子とその“きょうだい”が笑顔で暮らしていけるよう 知って欲しい『親なきあと』のこと



講師 藤井 奈緒氏

一般社団法人  
「親なきあと」相談室 関西ネットワーク代表理事

重度の知的障がい者である長女と健常児の次女の母。障がい者家族の当事者として、障がい者家族の終活に関する講演や相談支援の活動を行う。

2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられます。子が成人すると、親はその子の親権を失うこととなります。つまりは、ここから「親なきあと」となります。

親なきあと・・・障がいのある子と共に暮らし、衣食住の面倒を見るのは誰ですか？その子に合った入所施設を探すのは？手続きは？利用料の支払いなどの金銭管理は一体誰が・・・？誰にどのような形でその子の未来を託すのか。

本講演では、それらの漠然とした不安について紐解きつつ、法的な備えについてもお伝えします。正確な情報を得て、「今、できること」からはじめませんか。

日 時 2021年2月2日(火) 13:00~15:00  
参 加 費 無料(八幡支援学校関係者)  
会 場 八幡支援学校を予定(他会場の可能性もあり)

※マスクの着用、手指消毒、会場の人数制限などの新型コロナウイルス感染防止策を講じて実施いたします。  
※後日、学校から申し込み用紙が配布されます。ご参加のかたは必ず申込用紙までご確認ください。

### 編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。先の不安も拭いきれませんが、今年もたけまつりが無事に行われて子供たちのいきいきとした発表や、歓声を聞いていると、「よし。私も頑張っていこう。」と気持ちも、決意も新たにさせられました。皆様におかれましても、いろいろと感慨深い1年だったかもしれませんね。さて、次号でも気になる防災のことや、子供たちのことをお知らせしたいと思います。保護者の皆様からご意見などいただけると嬉しく思います。子供たちの笑顔と共に健やかに過ごしてください。

ご意見・ご感想・ご要望など、  
お待ちしております！



健康に気をつけて、良い年末年始をお過ごしください